



道徳だより 6



5 / 18 (水)

「十さいのプレゼント」の授業から

「形のないものがもつ素晴らしさに気づき、それらに感動する心を大切にしていこう。」というねらいで授業を行いました。

教科書のお話「十さいのプレゼント」を読んで、十歳になった娘のあやを早朝登山に誘い、山頂からの美しい日の出の風景を誕生日プレゼントとして見せたお父さんの気持ちと、その風景を見たあやの気持ちを考えました。「お父さんが、あやにプレゼントしたかったものは何か」「なぜ形に残るものではなく、この景色だったのか」について様々な意見が出ました。自然の風景や親の愛情といったものがもつ、「形のないものだからこそその素晴らしさ」に気づき、それらを感じ取り、感動する心をもつことができました。

5/18(水) 4回

プレゼントにもらってうれしいもの

- ・コンテンドーカード
- ・手紙
- ・洋服
- ・部活で使う物
- ・二だんケーキ
- ・「おめでとう」

十さいのプレゼント

★ お父さんがプレゼントしたかったものは？

- ・自然のきれいなけしき
- ・太陽がのぼっていくけしき
- ・父が好きな山登りも体けんしてほしかった。
- ・よく別なけしき
- ・父の気持ちを表せるけしき

思い出のころ

今までで一番きれい。
・「ありがとう」
・生きてよかった。
・泣いてしまおう。

感しゃ 感動

できるかぎりのこと
言葉では伝えられない思い

本当にすてきなプレゼントは、自分の心が美しくなったり思い出になるものだと思います。

これから母の日、父の日のプレゼントは言葉に表わせないうくらいの気持ちもこめてあげたいです。

たん生日はお母さんが命がけで生んでくれた日なのでお母さんに感しゃしたいです。お金を買う物より気持ちの方がうれしいことがわかりました。

これからの人生で感動や感しゃを感じていきたい。ただのもののプレゼント以外にも、自然の美しさも「プレゼント」というのが分かった。

NICE

